

臨床研究「もの忘れ外来を受診した患者の認知機能の推移に関する研究」について

筑波大学附属病院臨床心理部では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

近年、認知症は記憶障害のみならず様々な認知機能の障害を呈することが知られています。認知症とは、一度正常に発達した認知機能が後天的に障害され、日常生活や社会生活に支障を来すようになった状態を示しますが、その原因は様々です。また、認知症は進行性の疾患であり、その背景病理により疾患特有の症状が出現しやすいことが知られています。認知機能の精査はこうした特有の症状を検討し、医師が診断を下す上で有効なアセスメントツールであることが知られています。

本研究では、認知症における症状の特異性を検討するために、認知機能や、脳画像データの推移を検討するものです。推移を検討することによって、より有用な診断項目や検査項目を検討し、患者さんの診断、治療、予後の検討に役立てる事を目的としています。

② 研究対象者

2003年3月1日から2019年3月31日までに当院精神神経科を受診され認知機能検査を施行された患者さんのうち、複数回、同様の認知機能検査を施行された方々を対象とします。

③ 研究期間：

倫理審査委員会承認後～2025年3月31日まで

④ 研究の方法

初回の認知機能検査と、2回目以降の認知機能検査の得点の差異を継時的に検討します

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

年齢、診断名、性別、教育年数、Mini-Mental State Examination (MMSE)、ウェクスラー式メモリースケール改訂版 (WMS-R) Logical memory I・II (LM I・II)、Frontal assessment battery (FAB)、長谷川式簡易知能評価スケール (HDS)、長谷川式簡易知能評価スケール改訂版 (HDS-R)、Raven's Colored Progressive Matrices (RCPM)、Trail Making Test (TMT)、Clock Drawing Test (CDT)、ウェクスラー式知能検査-改訂版 (WAIS-R) 類似、Magnetic resonance imaging (MRI)、Single photon emission computed tomography (SPECT)

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

本研究で取り扱う個人情報、本研究の解析目的にのみ使用し、それ以外には用いません。個人情報の管理は筑波大学附属病院 臨床心理部 北島 綾子が行います。

⑦ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学附属病院 精神神経科 教授 新井哲明

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学附属病院 精神神経科 電話：029-853-3182 平日 9:00-17:00 担当者
精神神経科 准教授 太田 深秀